

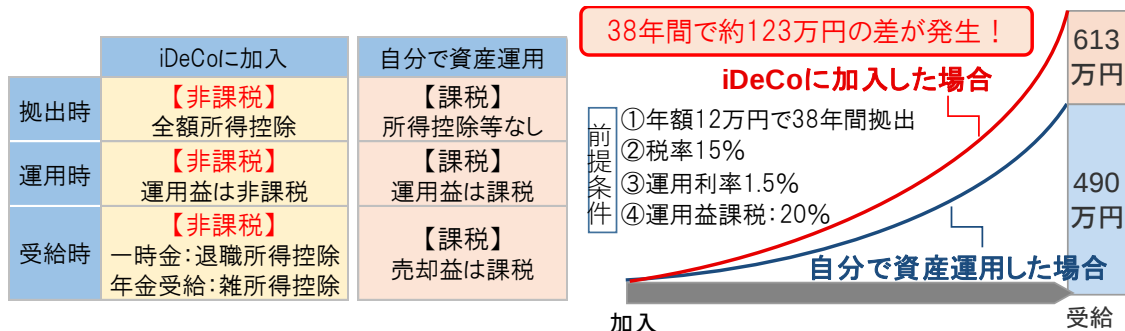
第 3 回「iDeCo を活用してみよう！」

三菱 UFJ 信託銀行 菅谷 和宏

<iDeCo ってなに？>

Individual-type **De**efined **Co**ntribution **p**ension plan の略で、個人が毎月定期的に掛金を拠出して資産を積み立てながら運用し、60～75 歳の好きな時に受け取りが可能な制度です。

<iDeCo のメリットは？> ◆税制優遇があること！◆



<iDeCo の加入方法> ◆手順は「3ステップ」！◆



※1 出版基金掛金相当額は、ご自分の掛金額の型(1 型 4,000 円～20 型 75,000 円)により異なります。ご自分の属する型がご不明の場合は事業所ご担当者または当基金までご照会ください。

【注】2022 年 10 月以降、企業型 DC 加入者(iDeCo に加入できる旨の規定が企業型 DC 規約にない場合)も iDeCo に加入できるようになります。なお、企業型 DC でマッチング拠出をしている場合や年単位拠出をしている場合は、iDeCo に加入できませんのでご注意ください。

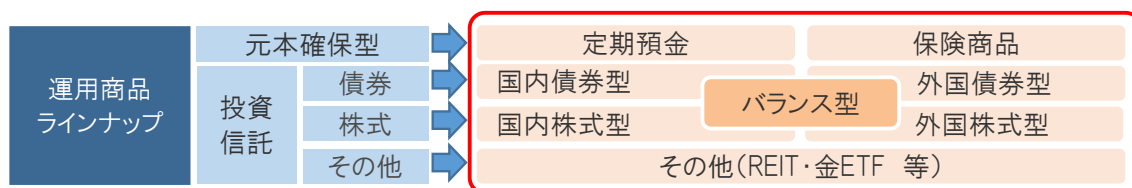
<金融機関の選定ポイント> ◆ポイントは「商品ラインナップ」と「手数料」！◆

1 つ目は、投資したい商品があるかどうか、2 つ目は口座管理等手数料です。口座管理手数料が高いとせっかくの運用益が減少してしまいます。また、商品を選定する際には商品ごとに設定されている信託報酬等の手数料を確認することも大切です。信託報酬が高いと利回りが高くても運用益が減少することとなります。

<運用商品の選定ポイント> ◆ポイントは自分の「リスク許容度」！◆

自分の年齢や他の資産の保有状況等により、どの程度のリスクがとれるのか考えて商品選定をします。一般的には、若年齢で今後も給与収入等が見込まれる方は相応にリスクを

とれるため、株式を中心とした商品選定が可能です。一方、定年を間近に控えた方はリスクを抑制し、債券中心の商品選択をすることが考えられます。また、自分がどの程度のリスクがとれるかわからない場合は「バランス型」の商品を選択することも考えられます。



<iDeCo 公式 HP>

<https://www.ideco-koushiki.jp/>

(iDeCo 公式ダイヤル) 0570-086-105

<iDeCo 取扱金融機関検索公式サイト>

<https://www.ideco-koushiki.jp/operations/>